

事業所における自己評価

公表: 令和6年3月1日

		チェック項目	はい	いいえ	分からない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	26	1	1	・ひよこや園庭など広い場所に移動する。2チームに分けるなど。	・生活習慣の自立度や認知レベルに考慮したクラス分けをしているが、同じクラスに人数の偏りがある場合には療育室のスペースとのバランスを考えながらクラス配置を行う。
	2	職員の配置数は適切である	23	0	5	・必要数の職員は配置されている。また、それぞれに役割分担も決めている。	・児の出席人数によって基本的な職員配置数を基に、適正な人数配置にさせて頂いています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	27	0	1		・お子様の特性に合わせて個別の対応をさせて頂いております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	27	1	0	・消毒等まめにしている ・毎日そうじをし、消毒等も行っている。	・感染対策を含めた清掃と消毒を毎日心がけております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	21	1	6	・クラスミーティングを毎日行いお子様の様子をクラス全職員が共通理解できるよう努めています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	24	0	4	・保護者様の意向を把握し、さらに満足して頂けるよう改善して頂きたいと考えております。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	21	0	7	・毎年保護者様と事業所に向けたアンケートを行い、その結果と改善内容を事業所のホームページに公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	14	4	10		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	27	0	1	・アドバイザーより講義を受けたり、実地指導を頂きながら支援の向上に努めている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	25	0	3	・保護者様と連携を取りながら個々の発達を促すための支援計画作成に努めています。	

公表:令和6年3月1日

適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	26	0	2	・センター独自の発達にかかわるアセスメントシートを用いてお子様の適応行動の評価をさせて頂いています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	26	0	2	・個々の発達段階に合わせた支援に取り組んでいます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	25	0	3	・お子様の発達に合わせた支援をさせて頂いております。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	23	1	4	・クラス担任で意見を出し合って活動を決めている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	24	0	4	・子どもさんの興味のある事を活動に取り入れている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	26	0	2	・毎日の活動に個別活動と集団活動を取り入れている。
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	25	0	3	・朝、活動内容・気を付ける事は職員が全員そろってから話している。 ・朝、一日の流れを確認する。 ・リーダー中心に毎日行われている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	25	0	3	・LINEを使う。 ・クラス日誌まとめたものをクラス担任で共有する。 ・登園時、話をした事・その日思った事についてクラス間で共有している。 ・休みの職員にも知らせている。 ・メモをとったりし、支援の振り返りをする。 ・リーダー中心にメモで記録を残して共有している
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	26	0	2	・日々のお子様の様子を複数担任がそれぞれに感じたことをメモに取りすべてクラス日誌に反映している。
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	25	0	3	・お子様の状況をみながら保護者に意向を確認し、日々支援の見直しを行っている。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	25	0	3	・担任と児童発達管理責任者が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	22	1	5	・必要に応じて関係機関の方に相談させて頂いている。

公表:令和6年3月1日

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	0	0	・現在、該当するお子さんがおられません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	0	0	・現在、該当するお子さんがおられません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	26	0	2	・連絡会への参加。 ・必要に応じて情報書類の作成。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	24	0	4	・連絡会への参加。 ・必要に応じて情報書類の作成。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	18	2	8	・大学講師より指導助言を頂いている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	12	10	6	・交流ではなく、地域の園との園庭開放を進めている。	・感染症の流行をしっかりと把握し、可能な範囲で設定している。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	16	3	9	・参加させて頂いている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	28	0	0	・連絡帳でのやり取り、登降園時の引継ぎ時間を大切にしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	24	0	4	・登降園時や連絡帳などを使っておこさんとの関わり方については詳しく保護者様にお話させて頂いている。	
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	24	0	4	・毎年、契約説明会時にご説明させて頂いています。
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	27	0	1	・年に2回、保護者様との個人面談を実施し、その際に個々に応じたねらい及び支援内容をご説明させて頂いております。	
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	27	0	1	・面談を大切に、保護者の相談を聞く。 ・児発管に相談し、助言と支援を行っている。	
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	26	0	2	・保護者会の集まりで頂戴したご意見は保護者会だよりとして配布することで意見の共通理解に努めている。	・感染対策に配慮しながら保護者様の意見交換の場所を増やしていきたいと考えている。

公表:令和6年3月1日

保護者への説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	28	0	0	・ご希望があれば随時面談の対応をさせて頂くことをしおりの中にも記載させて頂いている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	26	0	2	・不定期ではありますがセンターの行事や活動内容などを写真付きのお手紙でお知らせさせて頂いている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	25	0	3	・個人情報に関する書類は鍵付きの棚に保管している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	27	0	1	・登降園時に保護者様にお子様の状況について詳しくお話させて頂いたりお会いすることが難しいときも電話や日々の連絡帳などでもお知らせしている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	22	2	4	・地域の発達の気になるお子さん(親子)とセンターの子どもたちとのふれあいの場を設けている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	27	0	1	・各種マニュアルを作成し、マニュアルに沿って訓練を行っております。センターで流行している感染症について職員や保護者に手紙の配布させて頂いています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	28	0	0	・毎月、様々な災害を想定した避難訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	27	0	1	・年度初めに十分な聞き取りを行う。 ・該当者には書類を提出して頂いている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	28	0	0	・栄養士とも密に連絡をとり毎日の給食提供ではチェックを担当全員でしている。 ・アレルギーがある子は他児と離し給食やおやつを提供している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	26	1	1		・ヒヤリハット事例が起きた際には今後、気を付ける内容として職員に周知徹底していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	26	0	2	・毎年、職員に虐待、身体拘束に関わる研修を行っております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	24	0	4	・お子様の安全を守るために身体拘束をせざるを得ない場合には必ず事前に保護者様に説明し了解を頂いております。(椅子からのずり落ち防止、自傷行為を止める等)	